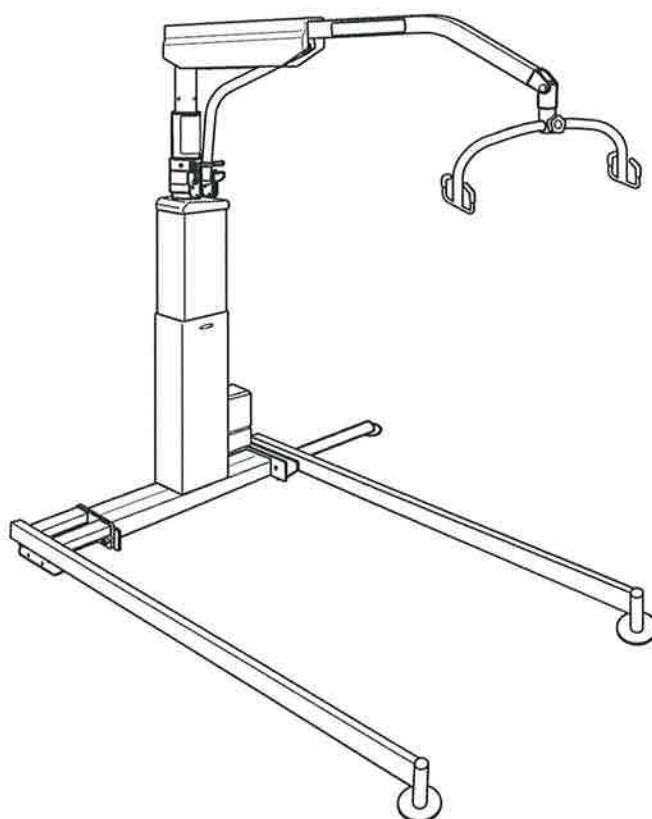


FRANCEBED

電動リフト FL-501 取扱説明書

331105-8900



⚠ 注意

- 安全のため、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
- お読みになった後は、いつでも必要な時に取り出せるように、所定の場所に保管してください。

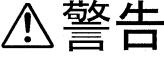
目 次

1. 安全のため必ずお守りください… 1～4	6. お手入れ方法…………… 2 2
2. 各部の名称…………… 5	7. 定格・仕様…………… 2 2
3. 部品の確認…………… 6～7	8. アフターサービスについて…………… 2 3
4. リフトの組立…………… 8～1 5	
5. リフトの使用…………… 1 6～2 1	

1. 安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしております。その指示と内容は次のようになっております。内容をよく理解してから本文をお読みください。

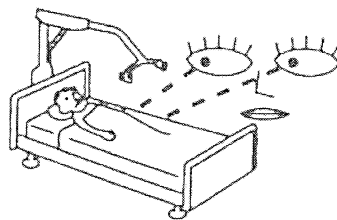
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (～してはいけません。)
	この記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (～しなさい。)
 絵表示	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。

警告

使用する前に必ずご本人、ご家族の方（付き添いの方）は使用方法を十分に理解してください。正しい使用方法を知らないと、思わぬケガをする恐れがあります。万一、理解できない・理解していないと思われる人がコントロールスイッチを操作してしまう可能性がある場合は電源プラグを抜き、誤作動しないようにしてください。

リフトは突起物のない水平な場所で、一般家庭及び施設の室内の環境で使用してください。戸外、風呂場などで使用しますと故障や事故の原因となります。

リフトを使用するときは、寝ている方や周辺の安全を確認しながら行ってください。何らかの危険を感じた時には、すぐに操作を中止してください。事故の原因となります。



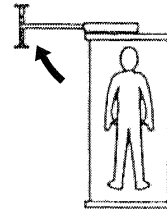
安全確認



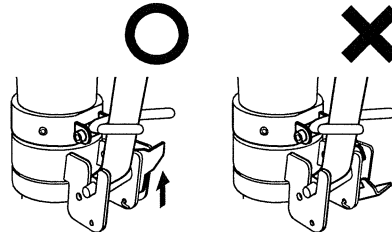
⚠ 警告

支持棒の脱着はベッドの外側へアームが振り切った位置で行ってください。誤って、寝ている方へ落下すると大変危険です。

外側へ振り切った位置で



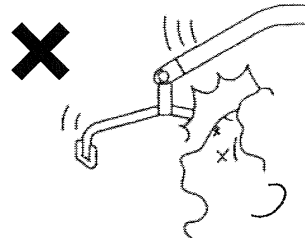
必ず抜け止めロックレバーがかかっていることを確認してから使用してください。支持棒が外れますと事故の原因となります。



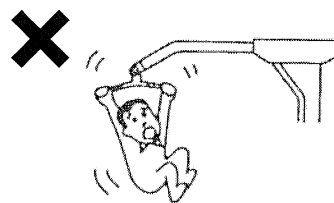
吊り上げシートがしっかりと体を支えているか、ハンガーに掛かっているかを、必ず確かめてから操作してください。又、吊り上げシートで首、手足を締め付けない様に吊り上げシートを本取扱説明書にのっとって正しく装着してください。

十分に動作確認してからご使用ください。

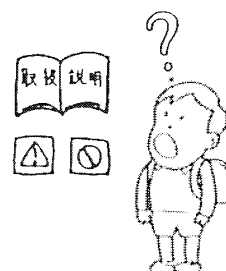
ハンガー（吊り下げ部）を頭部など体に当てないようにしてください。ケガの原因となります。



リフトにぶらさがったり、登ったりしないでください。ケガや事故の原因となります。



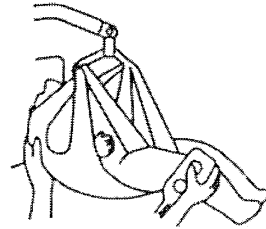
幼児や取扱説明書、警告ラベルの内容を理解し実行できない方には、操作をさせないでください。取扱説明、警告ラベルには安全に使用する上で重大なことが書かれており、この内容を理解し実行できない方が操作しますと、事故の原因となります。



使用者の最大体重は120kgです。120kgを超える場合はお使いにならないでください。リフトの破損や重大な事故の原因となります。

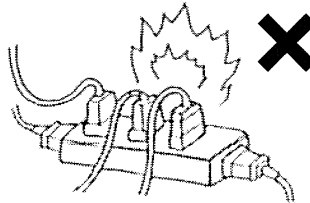
⚠ 警告

吊り上げた時、体が不安定な状態にならないように体を支えてください。一度揺れたら大きな不安感を与え、次の移動を嫌がることにもなります。



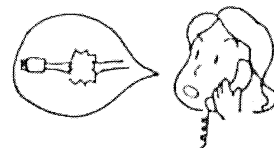
電源プラグは直接電源コンセントに差し込んでください。

タコ足配線は火災の原因となります。



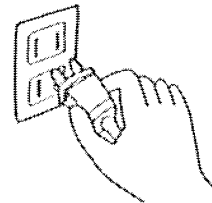
電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



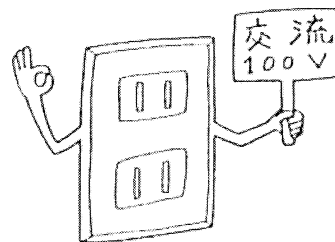
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。

コードが傷つくと火災、感電の原因となります。



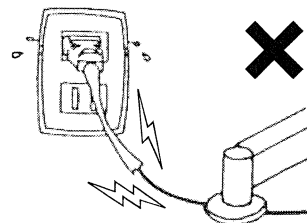
交流100V、50/60Hz以外の電源で使用しないでください。

火災、感電の原因となります。



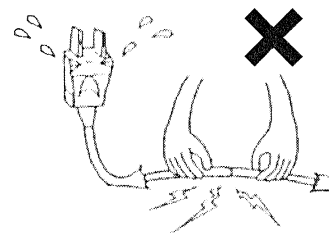
電源コードの上に重いものをのせたり、コードがリフトの下敷にならないようにしてください。

コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。



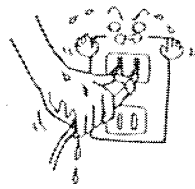
電源コードを無理に曲げたり、つぎ足したりしないでください。

火災の原因となります。

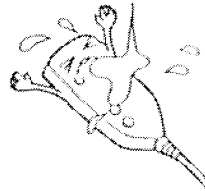


⚠ 注意

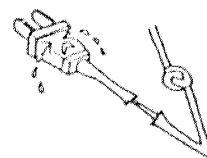
濡れた手で、電源プラグの抜き差しやコントロールスイッチの操作はしないでください。
感電する恐れがあります。



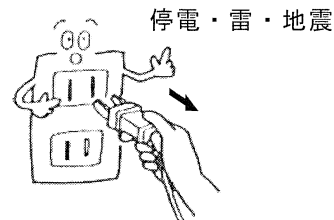
モーターやコントロールスイッチに水やジュースなどの液体をこぼさないでください。
故障や事故の原因となります。



電源やコントロールスイッチのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。
コードが破損して、火災、感電の原因となります。



電動操作を長時間行わないときや、停電、雷、地震の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのままにしておきますと、事故や故障の原因となります。



お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電する恐れがあります。

コントロールスイッチは、小さいお子様の手の届かない場所に置いてください。
いたずらによって事故が起こる恐れがあります。

リフトの近くでは、ストーブなどの熱器具はお使いにならないでください。
火災が発生したり、リフトが変質したりする原因となります。

モーター、コントロールスイッチ、コードなどは、破損した状態で使用しないでください。
火災や事故の原因となります。

ご自身で修理しないでください。火災や異常動作の原因となります。

分解、改造はしないでください。火災、感電の原因となります。

小さいお子様をベッドの近くで遊ばせないでください。
思わぬ事故の原因となります。



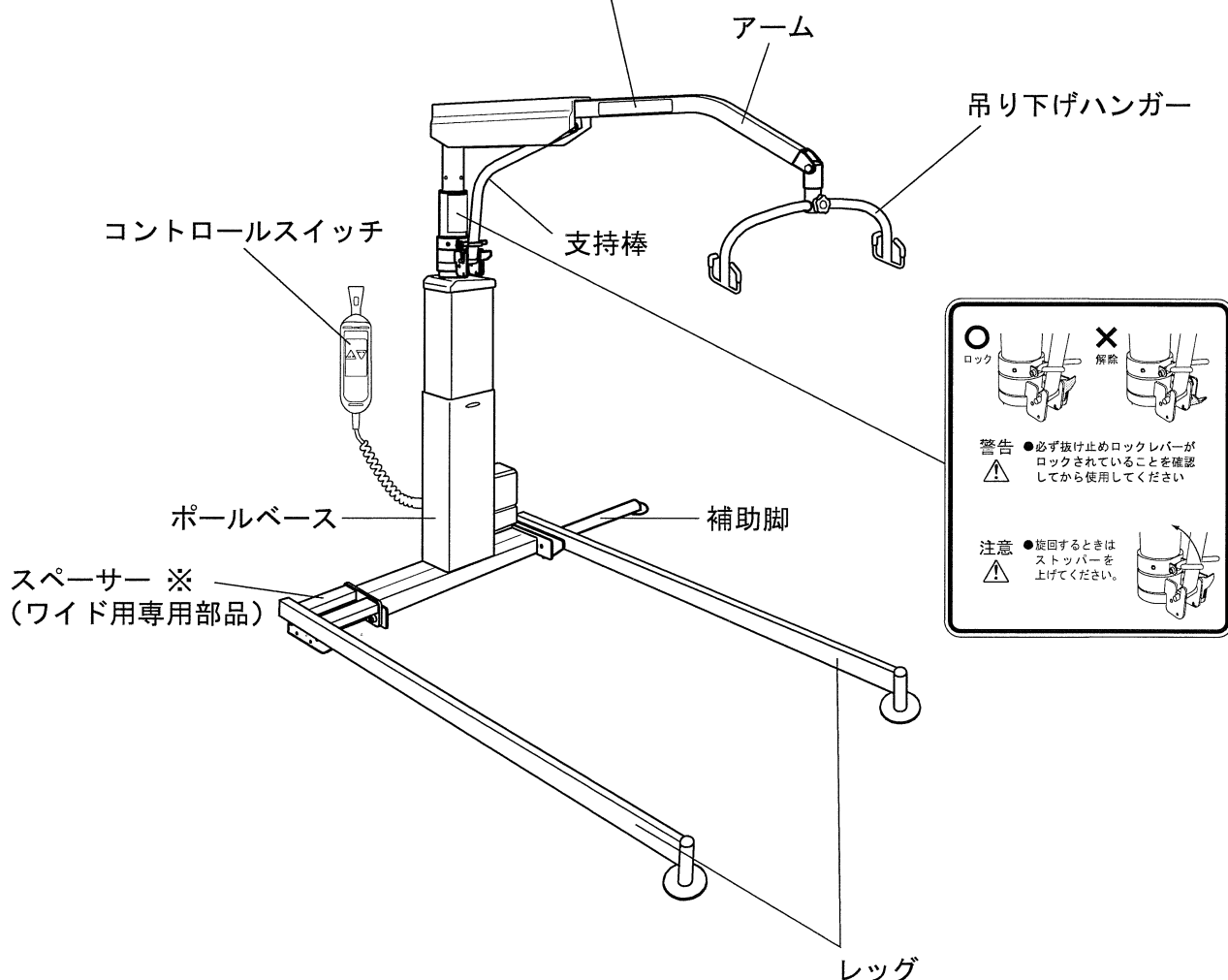
2. 各部の名称

本製品には、下図のように警告ラベルが貼付してあります。
ご使用前に、貼付箇所と意味内容をよくご理解ください。

警告



- 使用者の最大体重は120kgです。120kgを超える場合はお使いにならないでください。リフトの破損や重大な事故の原因となります。
- リフトを使用するときは、寝ている方や周辺の安全を確認しながら行ってください。
- リフトにぶらさがったり、登ったりしないでください。ケガや事故の原因になります。
- 支持棒の脱着はベッドの外側で行ってください。誤って、寝ている方へ落下すると大変危険です。
- 必ず抜け止めロックレバーをかけて使用してください。使用中に支持棒が外れますとケガや事故の原因になります。



※ ワイドサイズベッドでご利用になる場合は、スペース（ワイド用専用部品）の取り付けが必要となります。必ず、旋回しない側に取り付けてください。

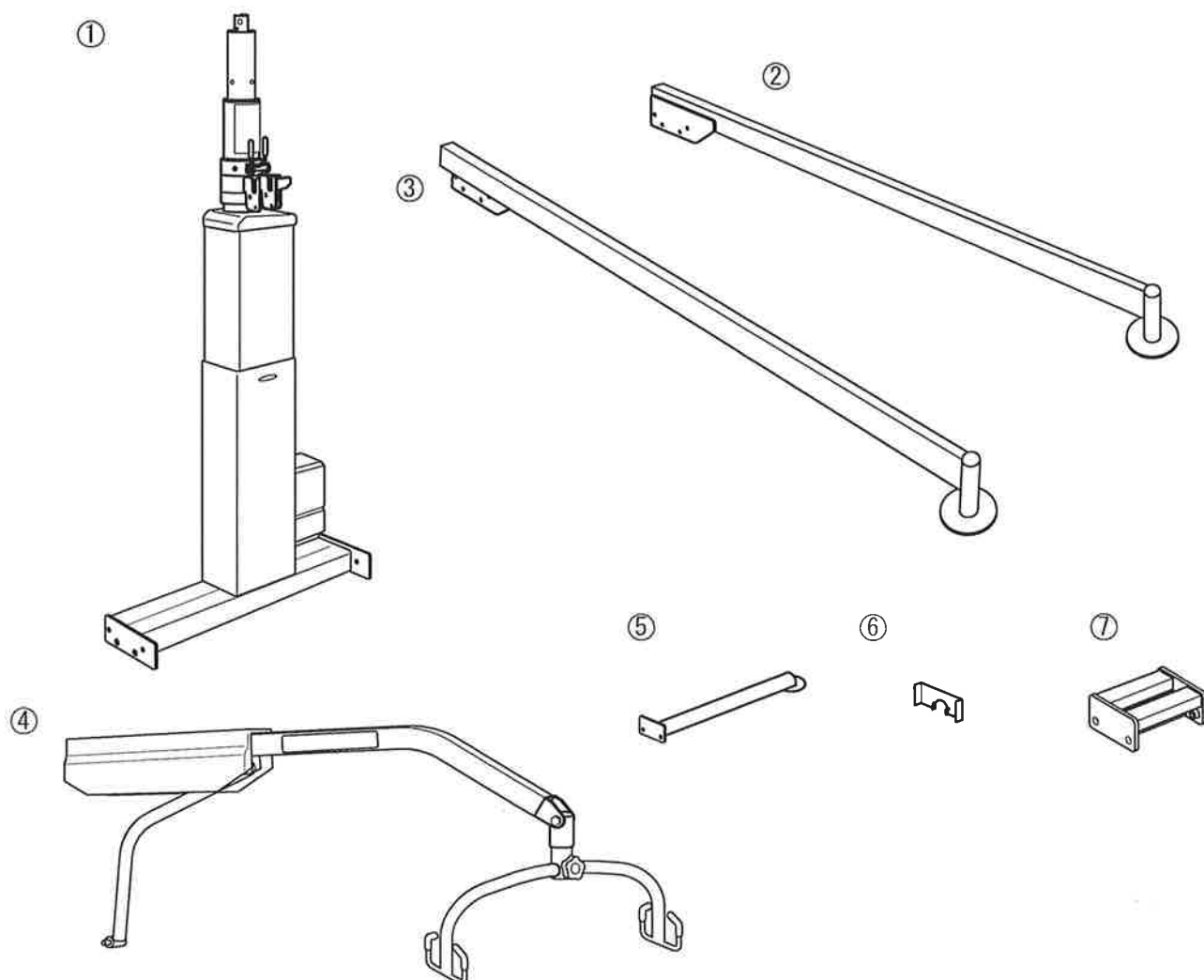
（レギュラー用には、スペースが付属されていません。）

3. 部品の確認

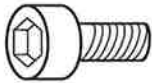
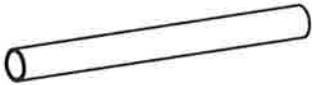
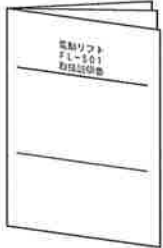
梱包箱の中から部品を取り出した後、部品一覧表に記載してある部品がそろっていることと、損傷が無いことをご確認ください。レギュラー用とワイド用で梱包品が異なります。

もし、足りない物があったり、損傷している物があったりした場合は、販売店にご連絡ください。

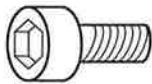
梱包箱		部 品 名	数	レギュラー用	ワイド用
A	①	ポールベース	1	○	○
	☆	袋詰め同梱品 1（次ページ）	1		
B	②	レッグ（左）	1	○	○
	③	レッグ（右）	1		
	④	アーム	1		
	⑤	補助脚	1		
	⑥	レッグカバー	1		
C	⑦	スペーサー	1		○
	☆	袋詰め同梱品 2（次ページ）	1		



☆袋詰め同梱品 1（梱包箱 A に同梱）

部 品 名		数	略 図
a	六角穴付ボルト (M 10×25mm)	6	
b	六角穴付ボルト (M 6×15mm)	1	
c	平座金 (呼10)	6	
d	バネ座金 (呼10)	6	
e	六角レンチ (対辺8)	1	
f	六角レンチ (対辺5)	1	
g	六角レンチ (対辺4)	1	
h	締め付けパイプ ※六角レンチ (対辺8) にはめます。	1	
i	取扱説明書	1	

☆袋詰め同梱品 2（梱包箱 C に同梱）

部 品 名		数	略 図
j	六角穴付ボルト (M 10×25mm)	2	
k	平座金 (呼10)	2	
l	バネ座金 (呼10)	2	

4. リフトの組立

[4-1] 組立するにあたって

下記の注意事項を十分に把握してから [4-2] 組立手順に従って組立ててください。

⚠ 注意

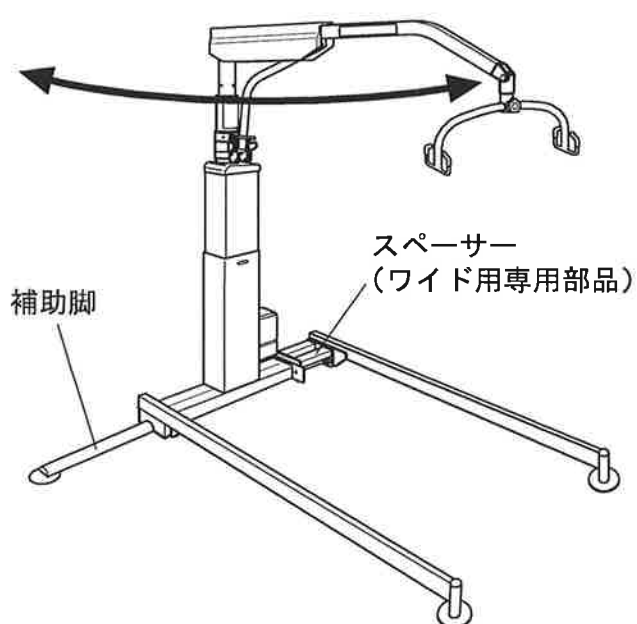
組立は、必ず販売店の方あるいは弊社サービスマンが行ってください。
各組立手順においての注意事項を十分把握してから行ってください。
組立終了後、付属の工具は、お客様が保証書とともに大切に保管してください。



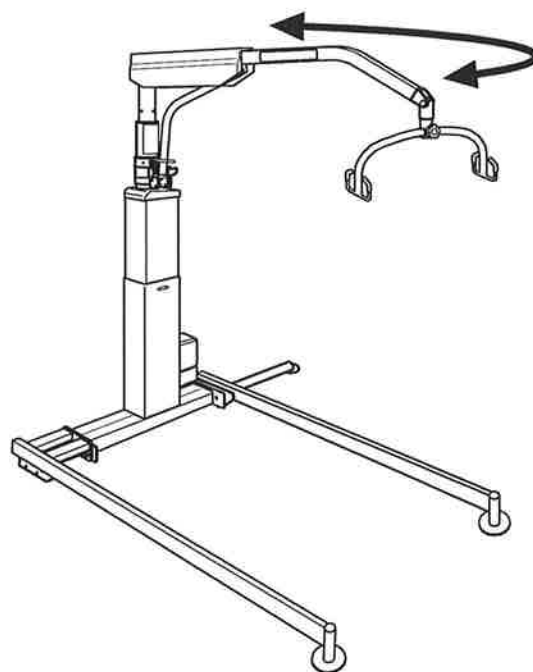
本機は、アームの旋回範囲と補助脚の位置が左右異なる右仕様と、左仕様に組立てられます。
お客様の使いやすい仕様を選び、組立ててください。

ワイドサイズベッドでご使用の際は、補助脚の反対側にスペーサー（ワイド用専用部品）を取り付けてください。

右仕様



左仕様



（旋回は補助脚のある側になります。）

[4-2] 組立手順

- ① ワイドサイズベッドで使用する場合は、補助脚を取り付ける反対側にスペーサー（ワイド用専用部品）をポールベースに、六角穴付ボルト（M10×25mm）、バネ座金（呼10）、平座金（呼10）で取り付けてください。（2カ所）（図1）

このとき、六角穴付ボルト（M10×25mm）はゆるく締めてください。

下図は、左仕様を示していますが、右仕様の場合はスペーサーを反対側に取り付けてください。

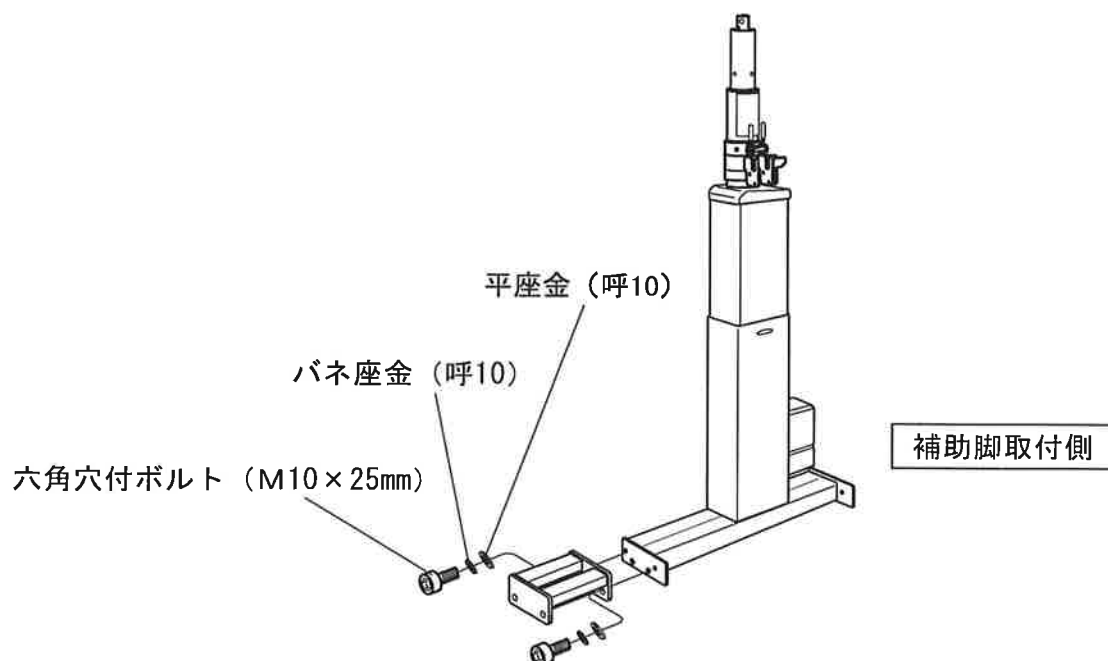


図1

- ② レッグ（左）、レッグ（右）をポールベースに、六角穴付ボルト（M10×25mm）、バネ座金（呼10）、平座金（呼10）で取り付けてください。（各2カ所）（図2）

このとき、六角穴付ボルト（M10×25mm）はゆるく締めてください。

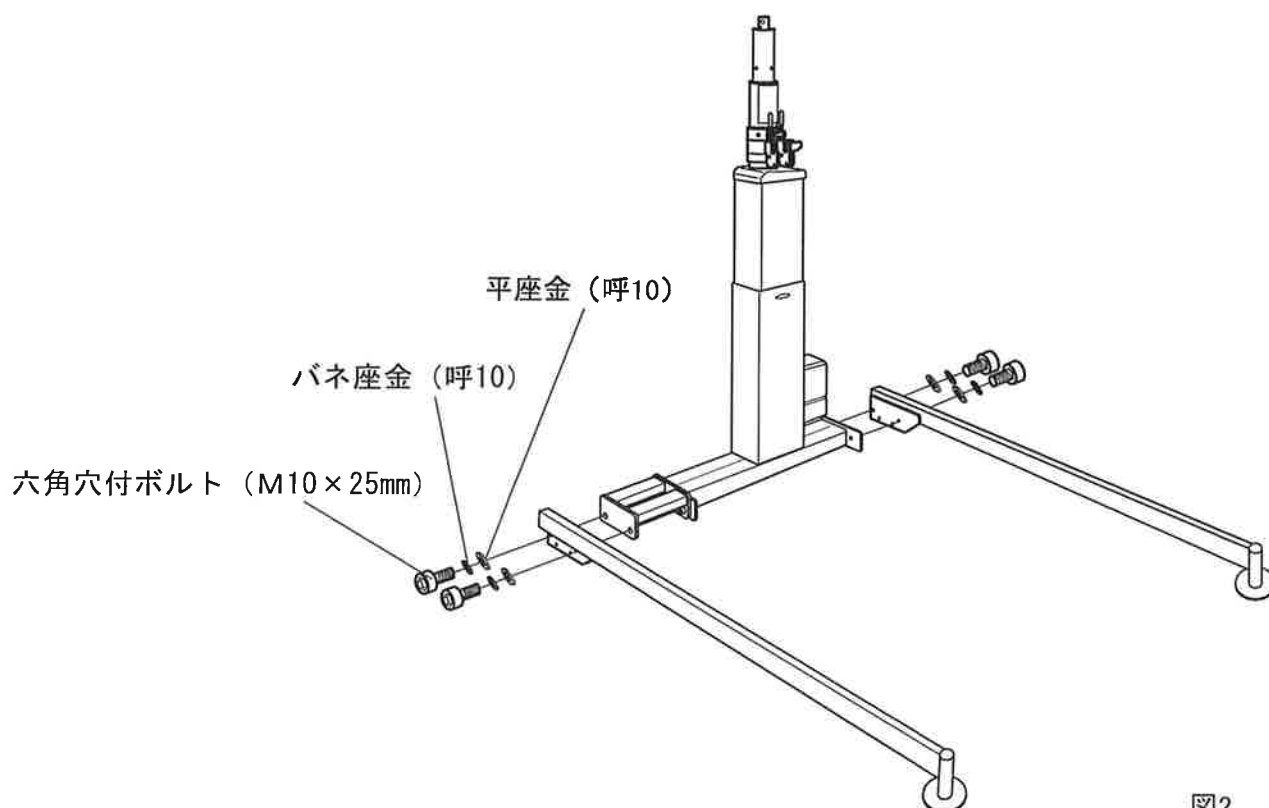


図2

- ③ 補助脚を六角穴付ボルト（M10×25mm）、バネ座金（呼10）、平座金（呼10）で取り付けてください。（2カ所）（図3）

このときも、六角穴付ボルト（M10×25mm）はゆるく締めてください。

下図は、左仕様を示していますが、右仕様の場合は補助脚を反対側に取り付けてください。

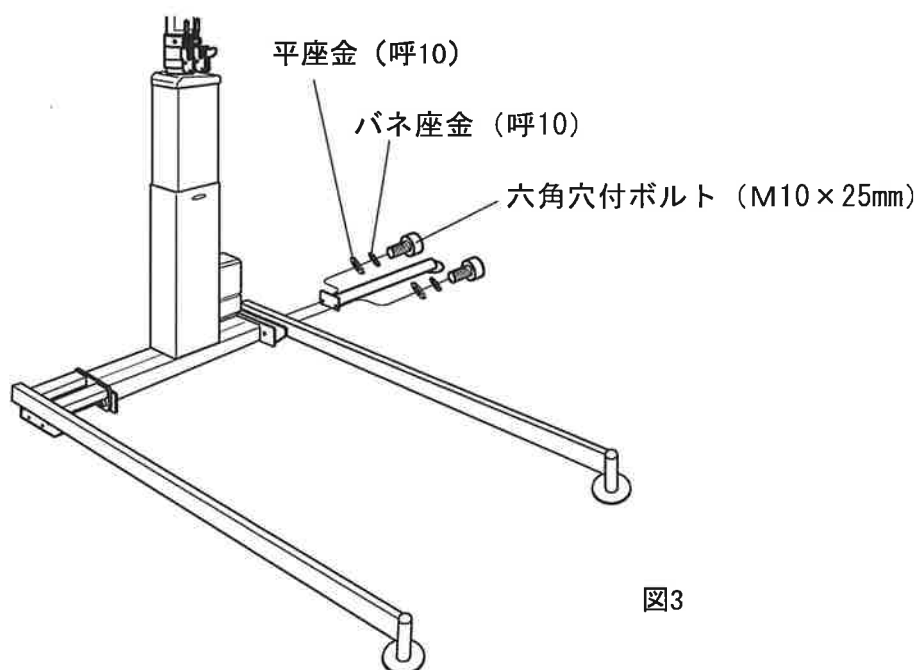


図3

- ④ ①、②、③でゆるく締めてある六角穴付ボルト（M10×25mm）を六角レンチ（対辺8）に締め付けパイプを差し込んで、しっかりと締め付けてください。
（推奨締め付けトルクは600kg・cmです。）

- ⑤ アームについているアームカバーを外してください。（トラスM6×12mm）（図4）

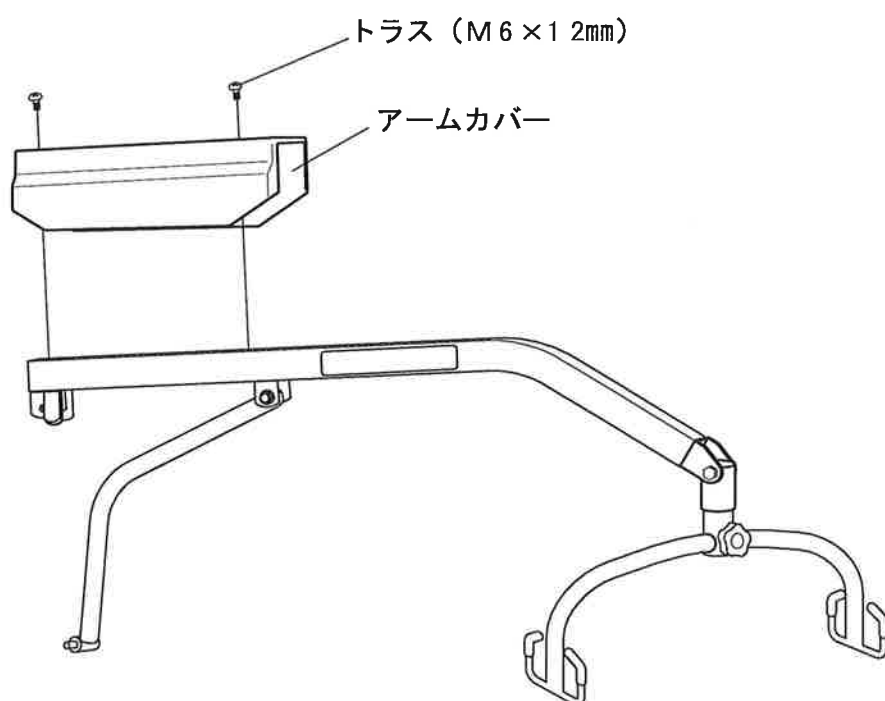


図4

- ⑥ ポールベースの上端部に取り付けてあるピン（上下支点ピン）を外して、アームとポールベースを組み付けてください。（図5）その後、支持棒をポールベースのフック部に入れると（図6）、ロックがかかります。（図7）

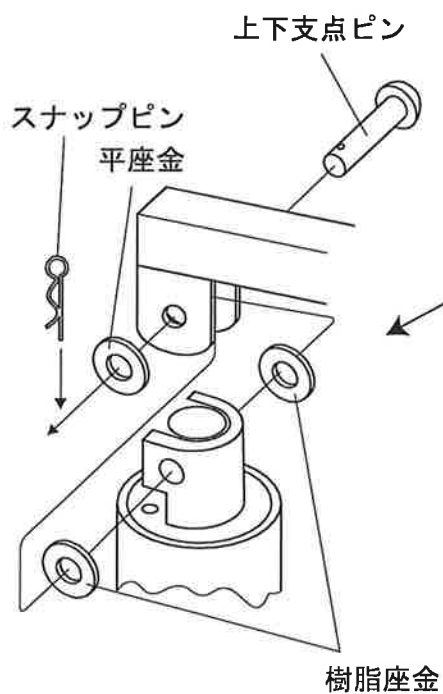


図5

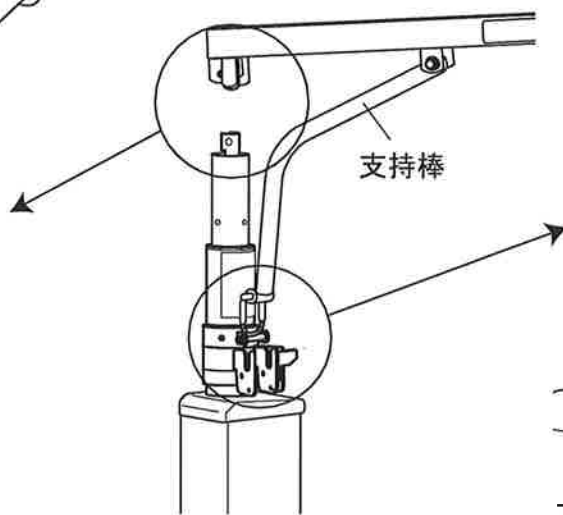


図6

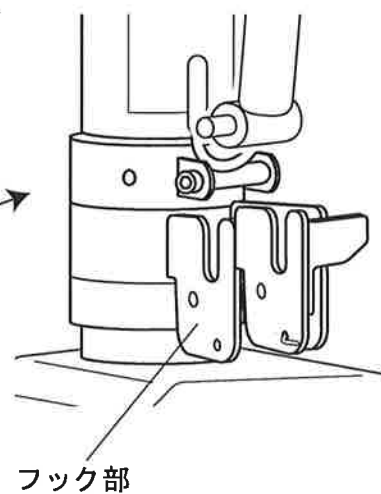
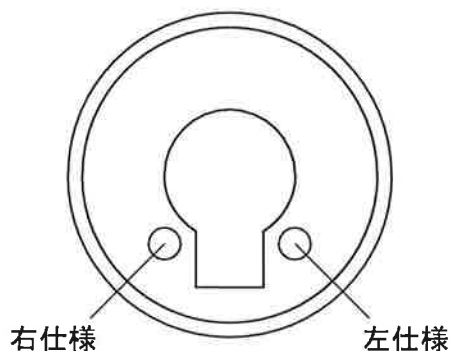


図7

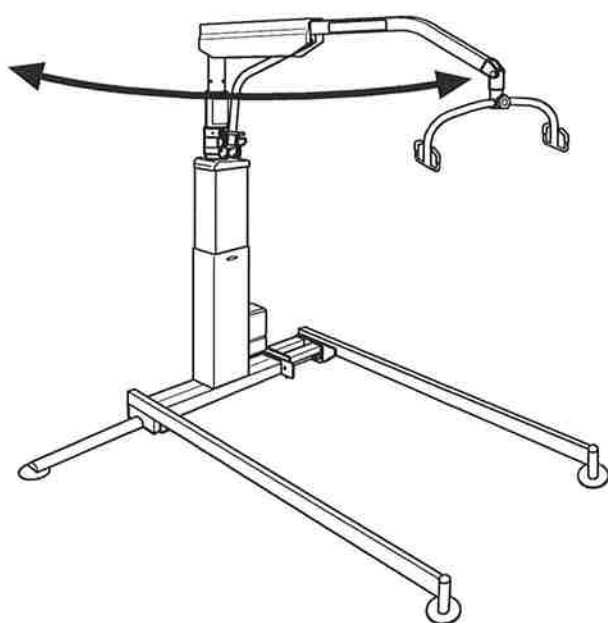
- ⑦ 旋回ストッパーとしてポールベースのアーム取付部のネジ穴に、六角穴付ボルト（M6×15mm）を六角レンチ（対辺5）で締め付けてください。ネジ穴は2カ所ありますが、下図を参照して、1カ所のみ締め付けてください。締め付けの場所を間違えますとお客様の希望の旋回方向になりませんのでご注意ください。



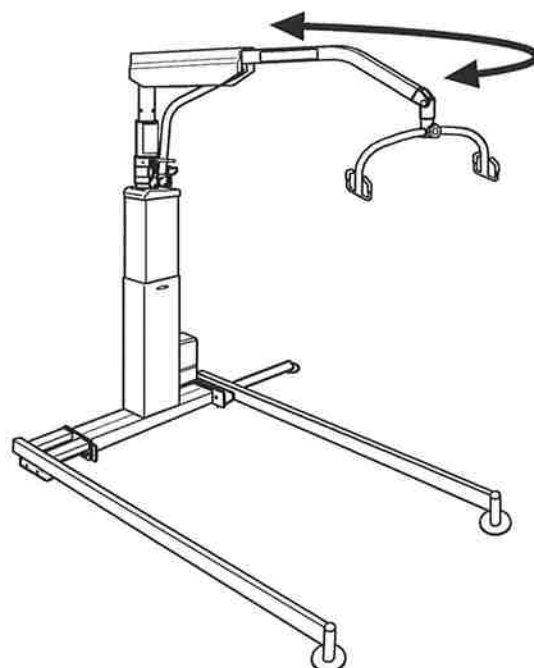
六角穴付ボルト
(M6×15mm)



右仕様



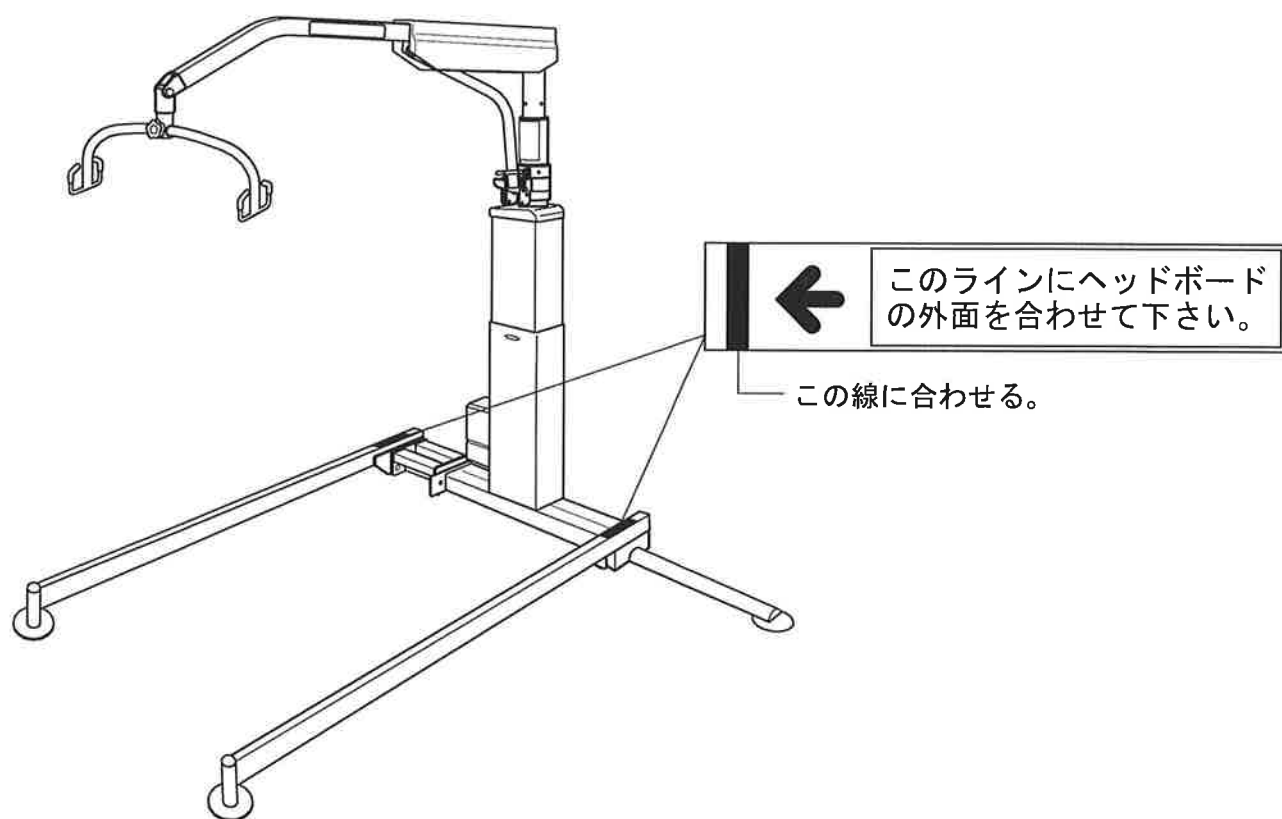
左仕様



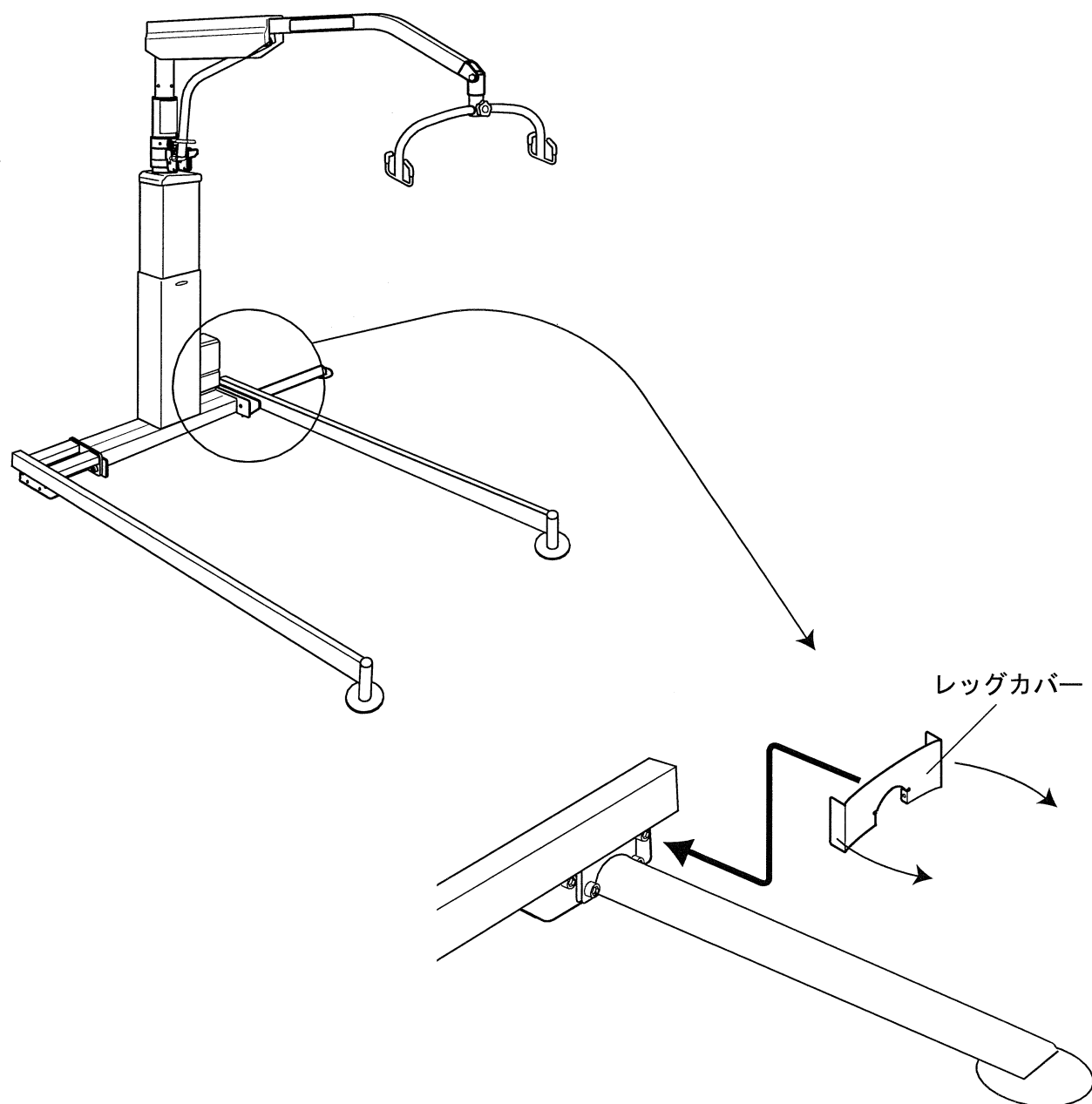
- ⑧ アームカバーを取り付けてください。

● 設置

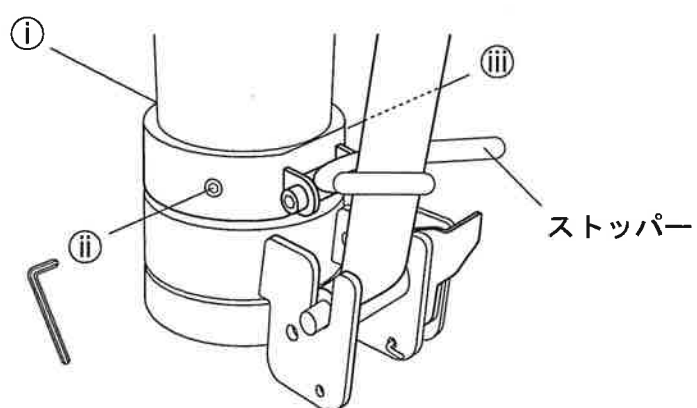
- ① お客様のご希望の設置場所からベッドを取り除いてください。
- ② 本機を設置してください。このとき、本機が電源コード及びコントロールスイッチのカールコードを踏んでいないことを確認してください。また、アームの旋回方向がお客様の希望通りであり、また、旋回範囲に障害物がないことも確認してください。
- ③ 電源コードのプラグをコンセントに差し込んで、アームを最上点まで上昇させて障害物がないことを確認してください。
- ④ 本機のレッグ（左）、レッグ（右）の間にベッドの頭部側を本機に向けて設置してください。このとき、ベッドボードの外側を、本機貼付シールの線に合わせてください。



- ⑤ レッグカバーの切欠き部に補助脚のパイプを挟み、レッグカバーの内側が補助脚を取り付けている六角穴付ボルト（M10×25mm）の頭部に当たるように取り付けてください。レッグカバーの切欠き部に補助脚のパイプが入りにくいときは、下図のようにレッグカバーを少しそらしながら取り付けてください。下の図は、左仕様を示していますが、右仕様の場合は反対側に取り付けます。

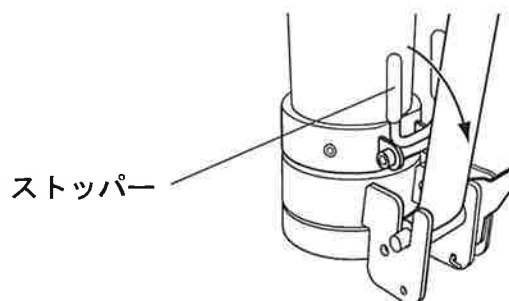


- ⑥ アームを固定する位置を決めて、六角レンチ（対辺4）でネジを①～③の順で3カ所締め付けてください。



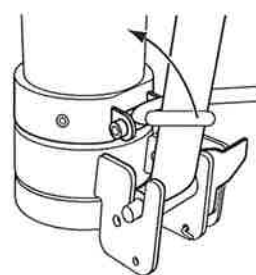
アームの回転止め

アームの回転を止める場合は、ストッパーを掛けてください。
ストッパーを下げると、アームの回転を止めることができます。



⚠ 注意

アームを旋回させる時は、ストッパーを上げてください。



5. リフトの使用

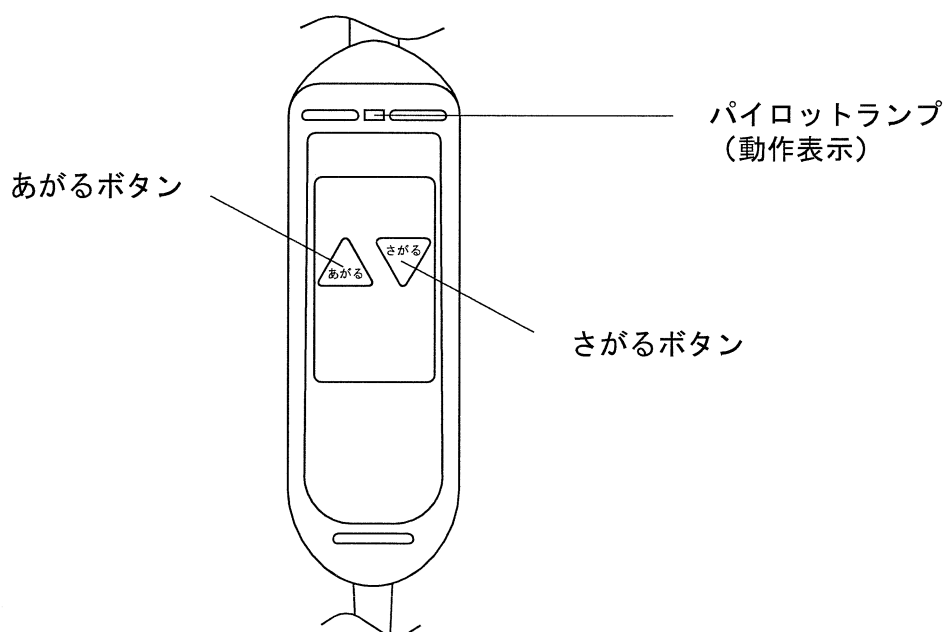
⚠ 警告

本書の1～4ページの、使用時の注意事項をお守りください。
お守りいただかないと、事故の原因となります。

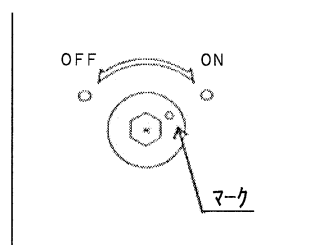


[5-1] コントロールスイッチについて

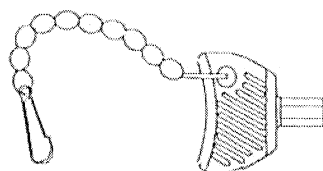
- リフトを操作する時はコントロールスイッチの各ボタンを押してください。ボタンを押すとパイロットランプが点灯し、リフトが動きます。
- 各ボタンは、蓄光材料を使用しております。部屋が暗くなってもしばらくの間発光し、コントロールスイッチの位置を確認することができます。
- コントロールスイッチの各ボタンに含まれている蓄光材料は、日光や蛍光灯の紫外線を蓄えることにより発光します。暗い場所で発光が弱くなったり、発光しない時は、日光や蛍光灯などでボタンをしばらく照らしてください。



◆安全スイッチの操作（うら面）



安全スイッチ



切替レンチ

※ ウラ面にある安全スイッチの六角穴に付属の切替レンチを差し込み、OFFにマークを合わせるとコントロールスイッチによる操作を禁止することができます。

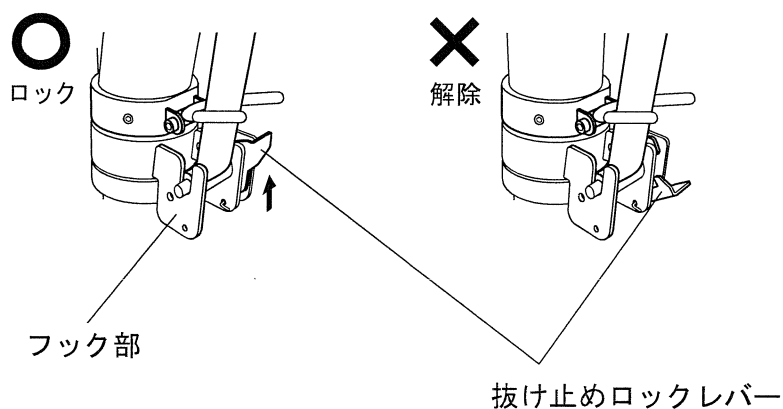
ONにマークを合わせるとコントロールスイッチによる操作が可能になります。

⚠ 注意

OFFの位置にマークがある場合には、リフトは動きません。

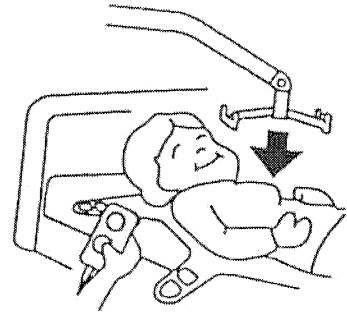
[5-2] リフトの操作

- ① リフトの支持棒をポールベースのフック部に確実に入れてください。支持棒をフック部に入れますと自動的に抜け止めロックがかかりますが、使用する時は必ずロックがかかっていることを確認してください。



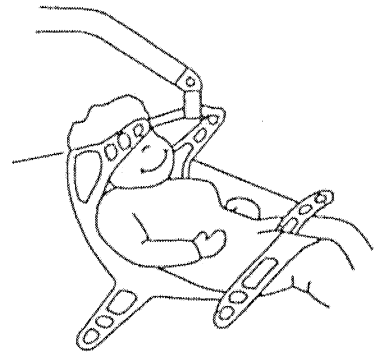
- ② アームを旋回させハンガーが、胸の中央部に
くるようにします。位置が決まったらコン
トロールスイッチのさがるボタンを押し、
ハンガーを吊り上げシートが掛けられる高さ
まで下げます。

（あがる／さがるボタンを押すと、リフトの
アームが上下します。ボタンから指を離すと、
そのときの高さで止まります。）

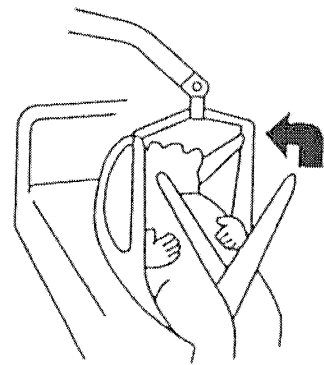


- ③ 吊り上げシートを、ハンガーのフックに引っ
掛けます。

頭部の左右、側部の左右、脚部の左右の順に
しっかりと掛けます。引っ掛ける穴を選んで
掛かり具合を調節できます。



- ④ 脚部のベルトは右と左を交差させて引っ掛けて
ください。

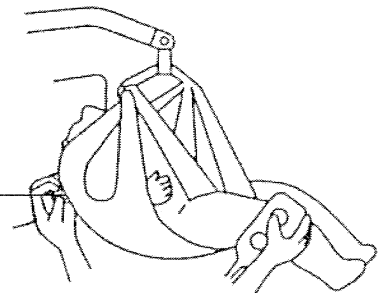


- ⑤ あがるボタンを少し押してみても掛かり具合を確かめます。手で体を支えながら、確実に掛かって
いるか、左右が均等になっているか、頭、上半身、脚がシートに乗っているか、シートにシワが
ないか（シワがあったら伸ばします。）などを確かめます。

- ⑥ あがるボタンを押して吊り上げます。まず、上半身が起こされ、次に脚が持ち上げられます。ほぼその状態で吊り上げられます。

- ⑦ ゆっくり吊り上げてください。片手でボタン操作ができますので、別の手でシート裏側の体支え用ベルトを使って、吊り上げ状態をコントロールします。

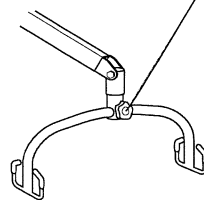
体支え用ベルト



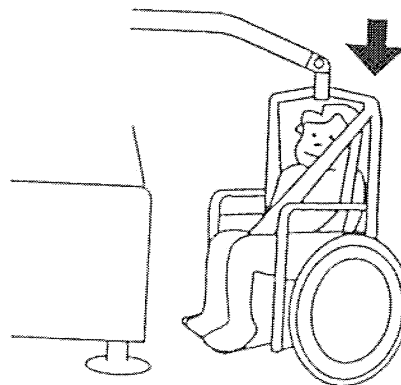
- ⑧ 体がベッドから離れ、移し替えできる高さになったらあがるボタンを離します。

- ⑨ アームを旋回させ、車いすなど移し替えるものを正面から近づけ、体がしっかりと座れる位置に移動させます。移動は、ゆっくりと行ってください。※ハンガー一部のつまみを締めますとハンガーの回転を止めることもできます。

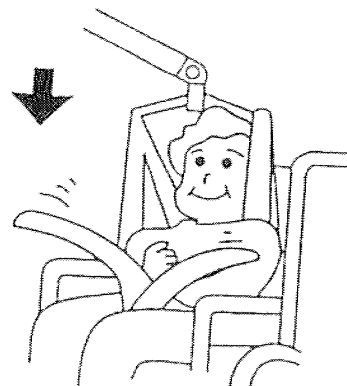
つまみ



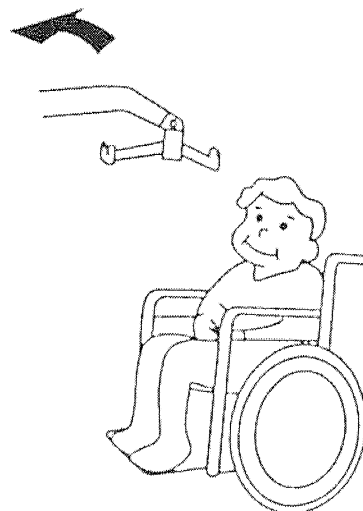
- ⑩ コントロールスイッチを持ってそばに寄り、体を支えながらさがるボタンを押し、座させます。移し替えるものが動かないように工夫してください。車いすなどは必ず駐車用ブレーキをかけておきます。



- ⑪ ベルトがややゆるむ程度まで下げ、吊り上げシートをはずします。（上に引き上げてはずします。）

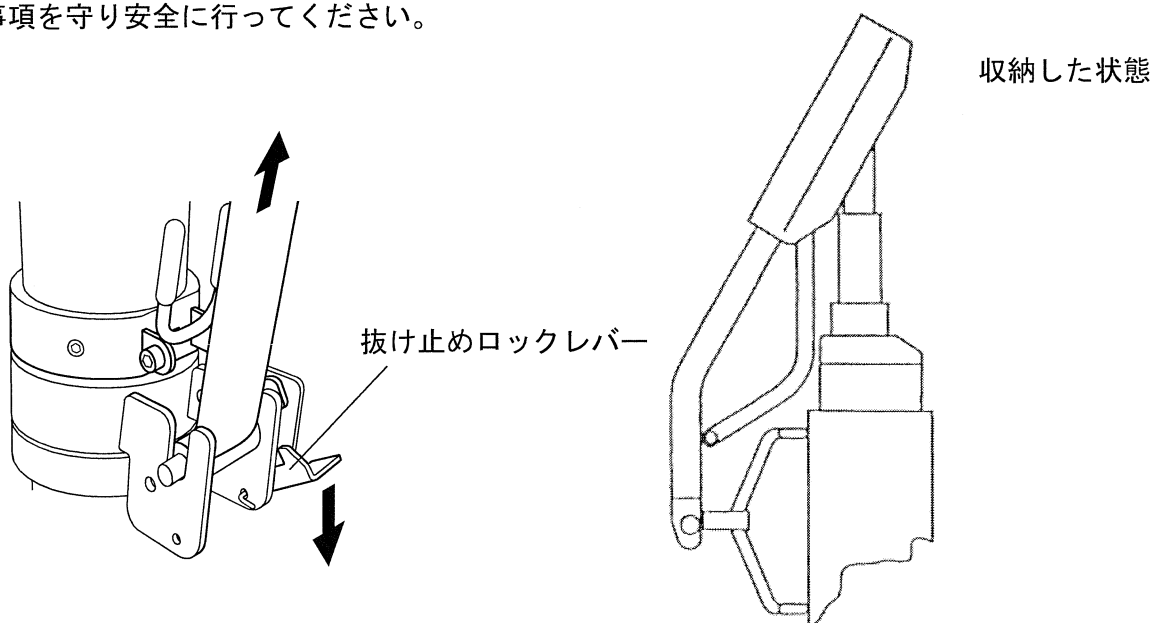


- ⑫ リフトのアームを離します。この場合もハンガーが体に当たらないように注意してください。



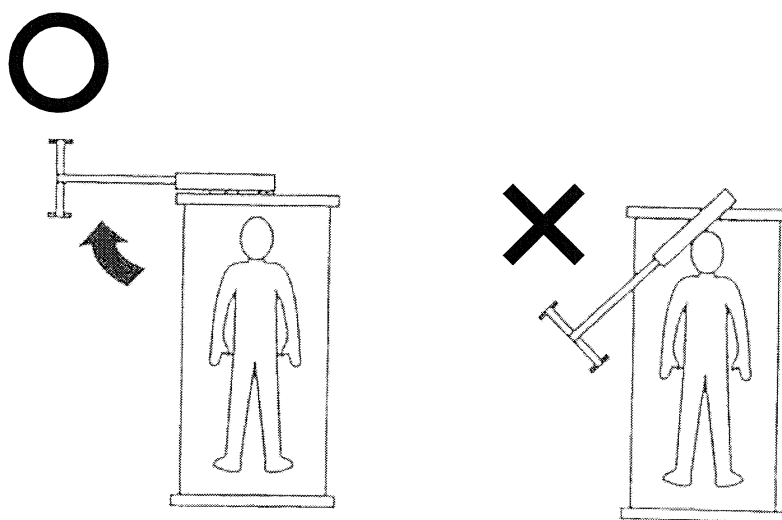
アームの収納

図のように抜け止めロックレバーを下げ、支持棒をはずしますと、アームを収納することができます。
警告事項を守り安全に行ってください。



⚠ 警告

支持棒の脱着は必ずアームをベッド外側へ旋回させ、振り切った位置で行ってください。ベッド内側や内側付近で行いますと、寝ている方へ誤ってアーム部分が落下する恐れがあります。事故やケガの原因となります。



6. お手入れ方法

⚠ 警告

お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電する恐れがあります。



ご自身で修理しないでください。火災や異常動作の原因となります。



分解、改造はしないでください。火災・感電の原因となります。



- フレームは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

しつこい汚れがある場合は、家庭用クリーナー、または石鹼水で拭き取り、その後、乾いた布で拭いてください。

重要：揮発性のものは絶対に使用しないでください。変質、変色の原因となります。

- ネジ類がゆるんでいないかどうか、時々確認してください。ゆるんでいたら、締めてください。

7. 定格・仕様

昇降モーター	定格電圧	100 V
	定格周波数	50 / 60 HZ
	消費電力	100 W
	モーター形式	DC (直流) 24 V
総重量	60 kg	
最大負荷	120 kg	
昇降時間	最大負荷時	70 秒
	無負荷時	60 秒
寸法	幅 (含補助脚)	1350 mm (レギュラー)
		1540 mm (ワイド)
	奥行き	1450 mm
	高さ	1430 mm
	ハンガー高さ	700 ~ 1550 mm

8. アフターサービスについて

● 保証書

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

● 保証期間中に修理を依頼される場合

保証書の記載内容に従って修理いたします。

● 保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 弊社の商品は厳格な検査を経て納入しておりますが、万一不具合な点、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社『お客様相談室』までご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容・・・ご住所、ご氏名、電話番号、型式名
お買い上げの販売店、お買い上げ日
故障または異常の内容（出来るだけ詳しく）

お客様相談室  フリーダイヤル：0120-392824
月～金曜日 9時～12時 13時～17時（土、日、祝祭日、年末年始などは除く）